

島ことばを 話そう 伝えよう!

島ことば、八丈方言、八丈語は、同じものとして扱っています。八丈方言は、八丈島、八丈小島(現在無人島)、青ヶ島で使われている言葉の総称です。

- 目次
- 〔1〕 なぜ、今、八丈方言なのか？
 - 〔2〕 八丈語は、ユネスコが認定した世界消滅危機言語の1つ
 - 〔3〕 八丈語の日本語に占める位置
 - 〔4〕 大昔のものが残る島、八丈島
 - 〔5〕 八丈方言の特徴
 - 〔6〕 八丈町教育委員会が作った八丈方言を学ぶための教材
 - 〔7〕 八丈方言の5地域での違い
 - 〔8〕 八丈町の取り組み
 - 〔9〕 八丈島ことば・番付表

〔1〕 なぜ、今、八丈方言なのか？

かつて、八丈島をふくむ日本全体で、方言を使わず共通語で話すようにという取り組みが行われました。その結果、その土地土地の言葉の特色が失われ、日本全体が画一化されてきました。しかし、方言は、その土地土地の文化であり歴史遺産です。出身者にとっての心のよりどころというノスタルジアの世界だけでなく、心を束ねる絆となり、故郷の存在をアピールするものともなるものです。

言葉は、一旦無くしてしまったら復活することの難しい貴重なものです。ですから、島ことばを話したり、伝えたりする活動が必要なのです。

〔2〕 八丈語は、ユネスコが認定した世界消滅危機言語の1つ

- ・ 2009 (平成 21) 年 2 月 19 日、ユネスコ (国連教育科学文化機関) が、世界消滅危機言語 (世界全体で約 2500 語) を発表し、報道されました。
- ・ 日本では、八丈島を含む 8 言語 (八丈語、アイヌ語、奄美語、国頭語、沖縄語、宮古語、八重山語、与那国語) が指定されました。この発表に八丈島の人たちはビックリしました。
- ・ 八丈語 (八丈方言) は、日本語で 1 番古いものが残る言語なので、大変貴重だと言われています。

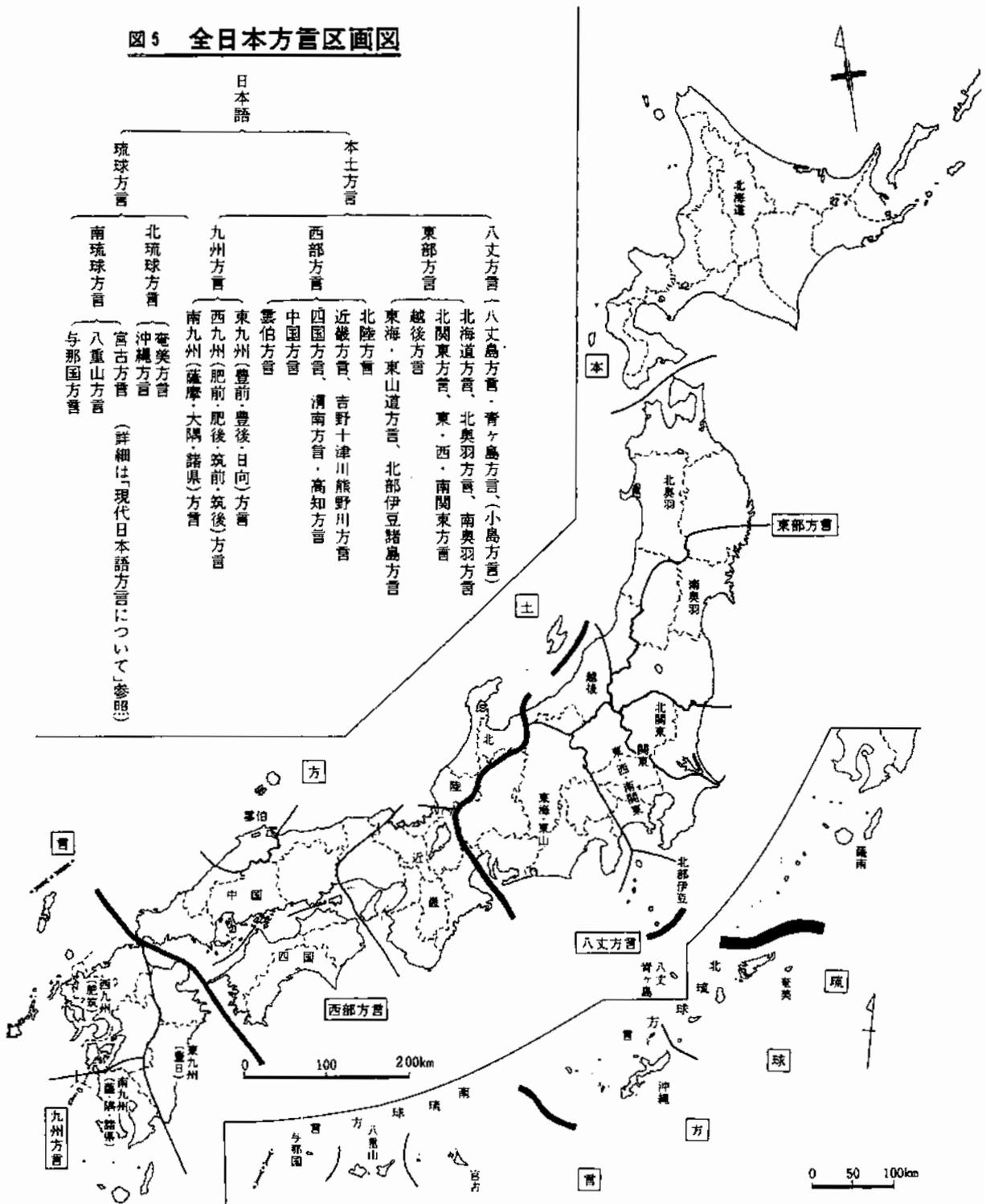


2009年2月27日付
南海タイムス

〔3〕 八丈語の日本語に占める位置

○下の日本語区画図で分かるように、八丈島と御蔵島との間に引かれた区分線はかなりの重要度をもつものです。八丈島は、狭い地域ですが、他の方言と隔絶され、独自性をもっていることが分かります。

○庶民の言葉で表現された日本で一番古い記録である万葉集の東国方言（その当時の関東地方とその周辺の言葉）と同じ用法が、八丈島では現在でもそのまま使われています。



「危機的な状況にある言語・方言に関する調査研究事業報告書」より

〔4〕大昔のものが残る島、八丈島

八丈島の言葉には古いものが残っているとされています。さらに、言葉以外にも古いものが、残っている珍しい地域が八丈島です。

八丈島は、7000年ほど前の大昔、縄文時代から人が住んでいました。そして、次のような縄文時代や弥生時代など古い時代からと思われるものが残っています。それは、本土などから伝わって来たものが行き場がなくそのまま残ったということと、黒潮の流れにさえぎられて新しいものが入って来にくかったからだと考えられます。

たかくら 高倉

高床式倉庫のことで、日本には、八丈と奄美、沖縄にしかない。八丈の物は他と違い、柱が床を貫く形式で、弥生時代の登呂遺跡と同じである。高い床によって、湿気を防ぎ、シロアリから食料を守っている。また、ねずみの害を防ぐねずみ返しがある。現在は、12、6、4脚の物がある。



八丈島歴史民俗資料館に移築展示

かっぺた織り

かっぺた織りは、機台がない腰機の織物で、そのため、アイヌのアツシ織、沖縄のミンサー織とともに古代織と言われている。かっぺたというのは、写真左下の横糸を打ち込むためのへらのような物のことである。



八丈島歴史民俗資料館展示

たなばでんせつ 丹那婆伝説

丹那婆というのは、丹那という名のお婆さんという意味で、八丈島の始祖伝説である。大昔、大津波に襲われた時、丹那一人が助かり、生まれた自分の子どもと夫婦になって島の先祖になったという南方系の伝説で、最も古い結婚の形とされる。日本には八丈島にしか残っていない。その碑が、末吉と大賀郷の2ヶ所に残っている。



末吉地域のもの

たましがき いしばさま 玉石垣と石場様

玉石垣や石場様（写真下）は、ともに南方系の物だと言われている。石場様は、独特な神を祭る方式である。玉石垣は、海岸の丸い転石を積み上げたもので、沖縄などにもあると言われるが、日本全体で見てもかなり珍しいものである。



大里の玉石垣



中之郷・菊池義郎氏宅のもの

〔5〕八丈方言の特徴

八丈方言には、次のような特徴があります。

- ①単語 …………… 奈良・平安時代の古い言葉が数多く残る。
- ②アクセント ……… 八丈方言はアクセントの区別がない（橋も端も箸も区別しない）。
- ③音韻 …………… ラ行音がダ行音に（ラジオがダジオに、流人がヅニンになるなど）。
- ④文法 …………… 八丈方言の最大の特徴（形容詞と動詞の特殊な連体形など）。

〔6〕八丈町が作った八丈方言を学ぶための教材

①八丈方言 100

単語などを、10級から1級まで、各級に10個ずつまとめたものです。10級と9級のみ例示。三根方言で表記。枠内は、方言・(意味、他地域での言い方)・用例です。

	10級		9級
1	めならべ (結婚していない若い女性) かえーしけめならべになろーじゃ	1	ちょんこめ (子牛) ちょんこめが 遊んであろわ
2	あっぱめ (赤ん坊) あっぱめが べな ってべなってしてあろわ	2	あび (野いちご) あびの花わ 白きゃ
3	おやこ (しんるい) うくと家とわ おやこだら	3	どんご (馬鹿者) うの人らわ どんごどーてのー
4	たこうな (竹の子) たこうな採りに 行こごん	4	えーたば (あしたば 檜立・中之郷はやた ば) えーたばのてんぷらわ うんまきゃ
5	こっこめ (アカコッコ。八丈島の代表的 野鳥) こっこめが 遊んであろわ	5	げっすり (疲れたようす、参ったようす) けいわ げっすりしたらー
6	あい、あれ、わい、われ (私) こら わが傘だら	6	こごん (こう、このように 中之郷・末 吉はこがん) こごん雨で 寒きゃ
7	でーじきゃ (美しい 檜立・中之郷はじゃ ーじきゃ) この花わ でーじきゃのー	7	ねっこきゃ (小さい) 五郎わ まだ2歳どんて ねっこきゃ
8	ぼーきゃ (大きい) 太郎わ 花子よりぼーきゃ	8	しょくない (知らない) その話わ しょくなつきゃー
9	かむ (食べる) あさけい かんできたらよー	9	やろごん (やりましょう 中之郷・末吉は やるがん) ごらごら仕事うやろごん
10	おじやりやれ (いらっしやい) 島に おじやりやれ	10	あによ、したろ (何をしているの?) おめー あによしたーろ

(表記上の「は」を、音声上の「わ」に直しています)

② ショメ節百句

八丈島の代表的な民謡「八丈ショメ節」は、盆踊り歌、宴会歌として即興^{そつきよう}で歌われ、何百という歌詞があります。その中には、島ことばの入っているものも多くあります。ショメ節百句はこれらの歌を百人一首の形式でカルタにしたものです。ここでは、読み札のみ載せてあります。

三根方言で表示。『奥山熊雄の八丈島古謡』などを参照。

つらい時にも 悲しけ時も
出ろわ 涙と 歌ばかり

つらい時も 悲しい時も
出るのは 涙と 歌ばかりだ。

あがな ぼんまわ
いつ来てみても
おやりよ捻って 日を送る

私の家のおばあちゃんはいつ来て
みても おやり糸を捻って 一日
を送っている。

あがな ぼーちやわ
とんめていに起きて
おうせカンモウ 噛め噛めと

私の母親は、朝早く起きて、おうせ
かんも（薩摩芋の品種名）を食べろ
食べろと勧める。

猫にや かとうぶし
めならべにやまだら
竈にやむすくび 家にわ嫁

猫には鯉節 娘には晴れ着、かまど
には太い薪、家には嫁が大切だ。

おみがあにんかも
あがぼうくなるに かんもの
しびよでも けるじやなし

あなたには何も関係なく、私は大き
くなったのよ。さつまいもの尻尾で
さえもくれたわけじゃないでしょ。

しぼー四駄刈れ
ごみよ五駄つけろ
休みも暇にわ 草履よ組め

まぐきを四駄刈れ。薪を牛に五駄つ
ける。休み暇には草履を編め。かん
ばつて仕事をしろ。

ねっこけ時にや
重ね着よせして
ぼうくなるろしやん 竹の皮

小さい時には 重ね着をさせて大
きくなるにつれて 薄着をさせるも
のだ。

雨わ降ってくる にやーの
薪やへいる へだかじや
子が泣く 飯やこげる

雨は降ってきて、庭の薪はぬれる。
背中じゃ子どもが泣くし、飯はこげ
るし、ああ、ついていない。

歌わショメ節 男わがんこ
牛めじや
万治やせいが 赤んぼめ

歌はショメ節で、男は頑固。
牛は万治兄貴の赤い雌牛が一番だ。

③家族関係などのことばカード

共通語	島ことば	共通語	島ことば
赤ん坊	あっぱめ	祖父	おうさま
幼女	あっぱ	祖母	ぼんま
老人	としより	父	ととう
娘	めならべ	母	ほーど、うんま
長男	たろう	長女	によこ
二男	じょう	二女	なか
三男	さぼう	三女	てご
四男	しょう	四女	くす
男	おのこご	兄	あせい
女	おんなご	姉	いんね、あねい
おてんば娘 <small>むすめ</small>	はねちやり	可愛い息子 <small>かみい</small>	わがとの
ふたご	たんご	可愛い娘	わがひめ



三根方言で表記。『消えていく島言葉』を参照。

④からだの部分を表すことばカード

あたま 頭 (つぶり)
 ひたい 額・おでこ (ひてー)
 まゆ 眉 (まみ)
 まゆげ 眉毛 (まみげ)
 ほお 頬 (ほー)
 は 歯 (ぬかば)
 くび 首 (くんぼね)
 むね 胸 (むないた)
 へそ 臍 (へっちよご)
 しり 尻 (しんべた)
 ひざ 膝 (つぐめ)
 かかと 踵 (あつけい)



かみ け 髪の毛 (つぶりのけ)
 うなじ (ぼんくぼ)
 め 目 (まなこ)
 めだま 目玉 (めんたま)
 した 舌 (べろ)
 あご 顎 (おとげー)
 かた 肩 (けーな)
 せなか 背中 (へだか)
 て ゆび 手の指 (いび)
 て おやゆび 手の親指 (ぼういび)
 すね 脛 (はぎ)

⑤動物などのことばカード

共通語	島ことば	共通語	島ことば
あしだかぐも	とうじんぎる	せみ	くつこーしめ
か	かぶめ	はえ	へーめ
ごきぶり	かきじゃりめ	むかで	むかじめ
しろあり	しょーりめ	いそひよどり	いそこっこ
とんぼ	ぼうぼんしめ	すずめ	つづめ
のみ	ぬんめ	ひよどり	ぴゃーぴゃーめ
あかこっこ	こっこめ	ねずみ	よめどの
きじぼと	しょーとめ	雄牛 <small>おしうし</small>	ぞくめ
にわとり	にゃっとりめ	子牛	ちょんこめ
めじろ	めんじめ	雌牛 <small>めしうし</small>	ぼめ
かえる	けーろめ		
とかげ	けーびょーめ		
みみず	めめずめ		
あり	ひやしめ		
が	へいるめ		
しらみ	しゃんめ		



ちょんこめ



めんじめ



こっこめ

三根方言で表記。『消えていく島言葉』を参照。

⑥八丈方言文法のテキストづくり（現在取り組み中）

八丈方言には、次のような文法上の特徴があります。

①八丈方言の形容詞の特徴

（例）万葉集の東国方言と同じく、「イ段」が「エ段」になります。

○次に名詞がくるときは、「け」になります。

（例）悲しい話 → 悲しけ話　美しい花 → でーじけ花　白い花 → 白け花

○終わる形ときは、「きゃ」になります。

（例）うれしい → うれしきゃ　面白い → 面白きゃ　黒い → 黒けじゃ

②八丈方言の動詞の特徴

（例）万葉集の東国方言と同じく、「ウ段」が「オ段」になります。

○次に名詞がくるときは、「ウ段」が「オ段」になります。

（例）雪が降る時 → 雪が降ろ時　走る電車 → 走ろ電車　飛ぶ鳥 → 飛ぼ鳥

○終わる形ときは、「オ段」の動詞に終助詞の「わ」や「じゃ」がつきます。

（例）雪がふるよ → 雪がふろわ　手紙を書くよ → 手紙よかこじゃ

※他に、カルタ（後述）、民話DVD、紙芝居（桃太郎）などを作成しています。

〔7〕八丈方言の5地区の違い (表記上の「は」を、音声上の「わ」に直しています)

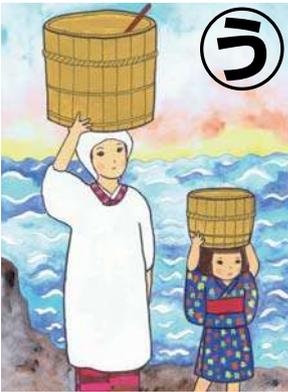
八丈方言は、八丈本島内でも5つの旧村ごとの地域差がある。さらに、地域内での地区差や年代差・男女差・個人差などがあり、微妙な違いがある。しかし、文法は変わらない。

例えば、誘いかける表現(例：やりましょう……やろごん、やろがん)で、「ごん」は三根・大賀郷・檜立、「がん」は中之郷・末吉で使われている。

八丈町教育委員会では、次のような島内5地域の方言による八丈・島ことばかるたも作成しています。(監修者の敬称は略しています。絵は菊池泰子さんによるものです)

	共通語	三根地域 (監修者：沖山彰)	大賀郷地域 (監修者：浅沼研)
あ	赤ん坊は 寝ていても かわいいね	あっぱめわ ねてあっても かえーしきやのー	あっぱめわ ねたっても かえーしきやなー
い	芋かごで 里芋(の皮)を こすり (とる) んだよ	いめみごで いもう こくろだらー	いめみごで いもの こうべー きしょげるだら
う	^{しお} 潮くみおけを 頭にのせて 浜に行くよ	うしよくみおけい ささんで はましやん いこわ	うしよくみおけー ささんで (ささっで) はまげー いこわ
え	エビズルは 昔は よく食べたもんだよ	えべずわ むかしわ よく かもうもんだら	えべずわ しょてーにや あんでも かまーの
お	お手玉をして みんなで 遊びましょう	おじゃみして みんなで あそぼごん	おじゃみーして めんなで あすぼごん

実際のカルタの読み札は、表面が共通語・三根・大賀郷、裏面が檜立・中之郷・末吉の言い方。

 <p style="text-align: center;">あ</p>	 <p style="text-align: center;">い</p>	 <p style="text-align: center;">う</p>	 <p style="text-align: center;">え</p>
<p>大賀郷 あっぱめわ かえーしきや</p> <p>三根 あっぱめわ かえーしきやのー</p> <p style="text-align: center;">あ</p> <p>赤ん坊は寝ていても かわいいね</p>	<p>末吉 いめみごで こくるだら</p> <p>中之郷 いめみごで そだら</p> <p>檜立 いめんごで こくろだらー</p> <p style="text-align: center;">い</p> <p>いもう いもこくりよ</p>	<p>大賀郷 うしよくみおけー (ささっで)はまげー</p> <p>三根 うしよくみおけい ささんではましやん</p> <p style="text-align: center;">う</p> <p>^{しお}潮くみおけを ^{あたま}頭にのせて 浜に行くよ</p> <p>いこわ</p>	<p>末吉 えべずーわ しよっちゅう</p> <p>中之郷 えべずーわ よくかまーもんだら</p> <p>檜立 えべずわ よくかまーもんだら</p> <p style="text-align: center;">え</p> <p>しょてーにや あ</p>

また、このような地域ごとの違いもあります。

	三根	大賀郷	檜立	中之郷	末吉
大根	でーこ	でーこ	じゃーこ	であーこ	でーこ
手を	てい	てー	ちー	ていー	ちー
げ ^た 駄	げとー	げとー	げとあ	げとあ	げたー
里芋を	いもう	いもー	いもー	いもー	いもー

檜立地域 (監修者: 伊勢崎武二)	中之郷地域 (監修者: 山下芙美子)	末吉地域 (監修者: 沖山慶孝)
あっぱめわ ねたあーっても かやしきやーのー	あっぱんめわ ねたっても かやあーしきやのあー	あっぱめわ ねたっても かえーしきやなー
いめんごで いもー こくろだらー	いめみごで いもこくりよ そだら	いめみごで いもー こくるだら
うしょくみおきー つぶりに ささっではましゃん でろだら	うしょくみおきー つぶりん ささっではましゃん でろわ	うしょくみーおきー ささんで はましゃん でろわ
えべずわ しょーてわ よく かもーもんだらー	えべずーわ むかしわ よく かもあーもんだらのあ	えべずーわ むかしや しょっ ちゅー かまーもんだらよー
おじゃみよーして みんなで あすぼごん	おじゃみよして みんなで あそぼがん	おじゃみよして めんなで あすぼがん

監修者による表現の違いもあります。

			
<p>大賀郷 あすぼごん</p> <p>三根 おじゃみよして みんなで あそぼごん</p> <p>お^{あそ}手玉をして みんなで 遊びましよう</p>	<p>末吉 こなさまわ かべーよ かんて ぼーくなる</p> <p>中之郷 こなさまわ かびやあよ かつて ぼーくなる</p> <p>立 こなさまわ かびやーよ かんて ぼーくなるわー</p>	<p>大賀郷 みはらやまの あかーけ つばきのはな</p> <p>三根 みはらやまの あかーけ つばきのはな</p> <p>み^{つばき} 三原山の 赤い 樅の花</p>	<p>末吉 むろの くさやわ うんまきやなー</p> <p>中之郷 むろの くさやわ うんまきやのあ</p> <p>立 むろの くさやわ うんまきやーのー</p>

〔8〕八丈町の取り組み

◎八丈方言講座

（講演会、島ことば教室、親子島ことば教室、文法講座）

H21～24年度までの4年間に6回の講演会を開催してきました。機会をみつけて開催し、島外講師の講演だけでなく、できるだけ島の人でも出演できるような形で取り組んで来ました。島民の関心も高く、多くの人たちが参加しています。また、島民向け島ことば教室や八丈方言研究者による文法講座、親子島ことば教室なども開催しています。



国立国語研究所の調査時の講演会
（第6回講座、H24年9月）

◎カルタ大会

「八丈・島ことばかるた」を作成。そして、全小学生家庭に配布したH23年度の1月に第1回カルタ大会を開催し、以後継続しています。保育園年長組からお年寄りまで年代別にグループ分けしたコーナーと、全世代が混じった



交流のコーナーがあります。ルールは、読み札も取る、読み終わって声がかかるといけない、手は初め膝におき、同



時に2枚とってはいけない、などです。読み手は、地域を意識して毎年かえています。当日はギャラリーも含めての参加者で楽しんでいます。

◎学校での取り組み

H21年度から、学芸会での方言劇の取り組みが始まりました。文化庁や文科省の事業として都内の劇団の方に援助をお願いしています。方言を理解する方法として、演劇は音声・身体表現なので大変優れています。地域の方々、特にお年寄りの方に好評です。また、方言の入った歌を作ったり、川柳を作る活動も行いました。



大賀郷小学校4年生の劇（H23年2月）



H24年度から、八丈町教育研究指定校制度が発足し、初年度は「八丈方言」を課題に小学校での取り組みが行われました。H25年度は中学校での実践が始まりました。これらを踏まえて、H26年度からは、八丈町全小・中学校で各学年年間3時間程度をカリキュラム化し、系統的・継続的な方言学習を目指しています。八丈町の小中学生は、9年間で27時間の方言学習を行います。

H21年10月から、各学校に「今週の島ことば」というA3版の用紙を掲示しています（写真参照）。

◎劇団「かぶつ」などの活動

シニア劇団「かぶつ（共通語ではダイダイの意味）」が、発足から方言劇に取り組んでいます。八丈民話などを取り上げ、シニア劇団の全国大会でも好評を博していますが、島内の小・中学校、保育園その他で出前公演を行っています。

保育園での園児の出し物や地域の祭礼での演芸会などでも方言劇などが演じられています。



南アルプス市でのシニア劇団大会（平成25年6月）

◎教材、教具の作成物（貸し出し）グッズ

- 島ことばかるた（5地域版。大判もあり）
- ショメ節百句（百人一首形式。一覧表資料も）
- 奥山熊雄民話DVD
- 紙芝居・桃太郎（B4サイズ）
- 動物・虫の写真とカード
- 体の部位名カード



八丈方言 100
会話文集

○は貸し出し可（申し込みは町教育委員会へ）

◎参考文献

「八丈島の方言」

内藤茂著、昭和54年3月20日発行

「八丈方言のいきたことば 民話・伝説・談話」

金田章宏著、平成14年5月31日発行（笠間書院）

「消えていく島言葉 ～八丈語の継承と存続を願って～」

山田平右エ門編、2010年9月23日発行（郁朋社）

〔9〕 八丈島ことば番付表



東		西
おじやりやれ (いらっしやい)	横 網	たもうりやれ (くださいませ)
へいていぶり (ひさしぶり)	張出横網	ばばしやかる (あわてふためく)
ほとうろわのー (暑いねー)	大 関	ひっかじもわのー (寒いねー)
ひっかする (忘れる)	張出大関	まじける (無くなる)
でーじぎや (美しい)	関 脇	かうえーらしぎや (かわいい)
めならべ (娘さん)	小 結	よけこ (美人)
どんご (馬鹿)	前 頭 1	はんけ (お調子者)
べなる (泣く)	前 頭 2	ぼちゃける (あきる)
ちょんこめ (子牛)	前 頭 3	ぞくめ (雄牛)
へっちょご (へそ)	前 頭 4	しんべた (おしり)
えーむ (歩く)	前 頭 5	わす (行く、来る)
とんめて (早朝)	前 頭 6	けい (今日)
しゃんめ (しらみ)	前 頭 7	ぬんめ (のみ)
めーららい (ごめんください。三根)	前 頭 8	あばよーい (さようなら)
あっぱめ (赤ん坊)	前 頭 9	ばんま (おばあさん)
ととう (父親)	前 頭 10	ほーど (お母さん)
ぼうきや (大きい)	前 頭 11	ねっこきや (小さい)
けーびよーめ (とかげ)	前 頭 12	くつこーしめ (せみ)
ごらごら (早く、急いで)	前 頭 13	よーらん (静かに、ゆっくり)
まるぶ (死ぬ)	前 頭 14	わいきゅーる (怒る。三根のみ)
けでーやみ (怠け者)	前 頭 15	はげた (悪口)
てんねい (天、空)	前 頭 16	みじゃ (地面)
あい、あれ、わい、われ (私)	前 頭 17	おみ、おめー、うぬ (あなた、お前)

三根方言で表記。『消えていく島言葉』を参照。